



— 9月1日は防災の日 —

日頃からの災害対策(震災)

防災の日は、関東大震災(大正12年9月1日発生)に由来し制定されました。災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために日頃から対策を行いましょう。

問い合わせ 地域安全課(☎②7444)

防災の基本

防災は、自分の身は自分で守る「自助」が基本となります。地震などが発生したとき、どのような行動をとれば身の安全を守れるのかなどを知っておくことが必要です。危険を減らすために自分の家の安全対策を行うとともに、水や食料などの備えをしましょう。そうすることで家族や周りを助ける「共助」につながります。

住宅の危険防止

現在の耐震基準は昭和56年6月に導入されています。それ以前に建てられた住宅は耐震診断を受け、基準を満たしているか調べて結果に応じた耐震改修を行いましょう。リフォームや建て替えを行うことで、大きな地震が起きても長く安心して住み続けられる環境が確保されます。

市建築課では木造住宅の耐震診断を実施しています。期間は9月30日(金)までです。詳しくは建築課(☎④2827)へお問い合わせください。



住宅内の危険防止

家具の転倒や収納物の散乱などは、けがの原因や避難の妨げとなります。家具は部屋の出入口や寝所の付近に設置しない、もしくは転倒防止器具などで壁に固定して安全な空間を確保しておきましょう。また窓ガラスが割れ、破片が飛び散ってしまうと大変危険です。飛散防止フィルムを貼るなどの対策が効果的です。

災害発生時の行動

■家の中では

- ▷慌てて外へ飛び出さない
- ▷大きな家具から離れる
- ▷座布団などで頭を保護し、丈夫な机の下に隠れる

■家の外では

- ▷ブロック塀や電柱、自動販売機など倒れそうなものに近づかない
- ▷看板やビル・住宅といった建物のガラスの破片が落下することがあるので周囲から離れる

■施設などでは

- ▷係員の指示に従い、慌てて出口・階段などに殺到しない
- ▷ガラス製の陳列棚や天井につられているものから離れる

家族防災会議の開催

大規模災害時は電話がつながりにくくなります。災害時はどこへ避難すれば良いのか、事前に集合場所を決めておきましょう。



避難に備える

自宅が被災し、生活が困難となった場合は安全な場所に避難し生活を送ることになります。避難する際の荷物はすぐに持ち出せるようあらかじめ準備しておきましょう。非常時の持ち出し品は広報ふじおか8月1日号3ページ「風水害に備える」を参考にしてください。

ほっとメール・ツイッターで情報収集をしよう！

登録はこちらから

ほっとメール

ツイッター

ふじおか

藤岡市公式

回収した資源・有害ごみ量

アルミ缶	65,070kg
スチール缶	82,020kg
白・透明ビン	143,710kg
茶ビン	138,050kg
その他ビン	52,100kg
生きビン	33,420kg
PETボトル	138,080kg
トレイ	7,260kg
古紙類	594,760kg
廃乾電池	20,060kg
廃蛍光管	9,890kg
スプレー缶	17,130kg
PETボトルのふた	4,100kg
ライター	2,640kg
マッチ・花火	10kg
合計	1,308,300kg

不燃ごみからの資源ごみ量

アルミ類	17,370kg
スチール類	115,570kg
電線	2,150kg
銅	150kg
真鍮	770kg
家電類	1,000kg
小型家電	74,820kg
合計	211,830kg

施設への持ち込みごみからの資源ごみ量

家電類	4,410kg
プレススチール類	139,180kg
廃鉄	85,240kg
古着	6,100kg
リサイクル提供品	2,850kg
古紙	175,760kg
処理困難物	30,270kg
小型家電	68,050kg
合計	511,860kg

市内で排出されたごみは清掃センターおよび鬼石資源化センターに持ち込まれ可燃ごみは焼却、不燃ごみは手選別により資源化しています。資源ごみはリサイクル業者が引き取り、資源として生まれ変わります。平成27年度からは小型家電のリサイクルを開始し、皆さんのご協力によって多くの資源ごみを回収しました。

資源ごみ回収実績を報告します(平成27年度の資源化率20・84%)

昨年度の資源・有害ごみの総量は、130万8300kg。売却代金2678万203円でした。また不燃ごみから選別した資源ごみ総量は21万1830kg・売却代金は406万6930円でした。また市民の皆さんが直接清掃センターに搬入したごみからの資源化量は51万1860kg。その他にも、資源集団回収事業での資源化量が146万9310kg。可燃物を焼却した際に発生する焼却灰の資源化量は238万4060kgでした。

市では今後もごみを分別収集し、ごみの減量化、リサイクルの推進、焼却炉や埋め立て地の延命、環境負荷の低減を図ってまいりますので、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

※家電製品などに入っていないカセットボンベ・ライターの正しい出し方

卓上コンロやバーベキュー用のカセットボンベおよびライターをごみとして出すときは、穴を開けずに赤カゴに出してください。収集車の火災の原因になりますので、絶対に不燃ごみの袋に入れて出すことはしないでください。

しののめ信用金庫と地域経済活性化包括連携協定を締結

8月17日、しののめ信用金庫と市は「地域経済活性化に向けた包括連携に関する協定」を締結しました。この締結により地域経済のさらなる発展と活性化を推進する体制が整いました。今後も協力してまちづくりに取り組んでいきます。

問い合わせ 企画課(☎④2424)